

# ゼロカーボンにかかる事業進捗について

令和7年2月13日 環境資源課

## <本日のポイント>

- 1 脱炭素に向けた主な国の動き
- 2 国内・県内の取組状況
- 3 宮代町の温暖化対策 『地球温暖化対策実行計画』  
I) 区域施策編 II) 事務事業編
- 4 実施中・実施予定の脱炭素対策
- 5 今後の予定

## 1 脱炭素に向けた主な国の動き

### ● 地球温暖化対策の必要性

→ 二酸化炭素などの温室効果ガス（GHG：GreenHouse Gas）の増加に起因する世界の平均気温の上昇を産業革命時（18世紀半ば）から1.5℃以下に抑えなければ（2020年時点ですでに1.1℃上昇）、様々な気候変動の影響が回避できなくなるとされています。



### ① カーボンニュートラル宣言（2020年10月 菅内閣）

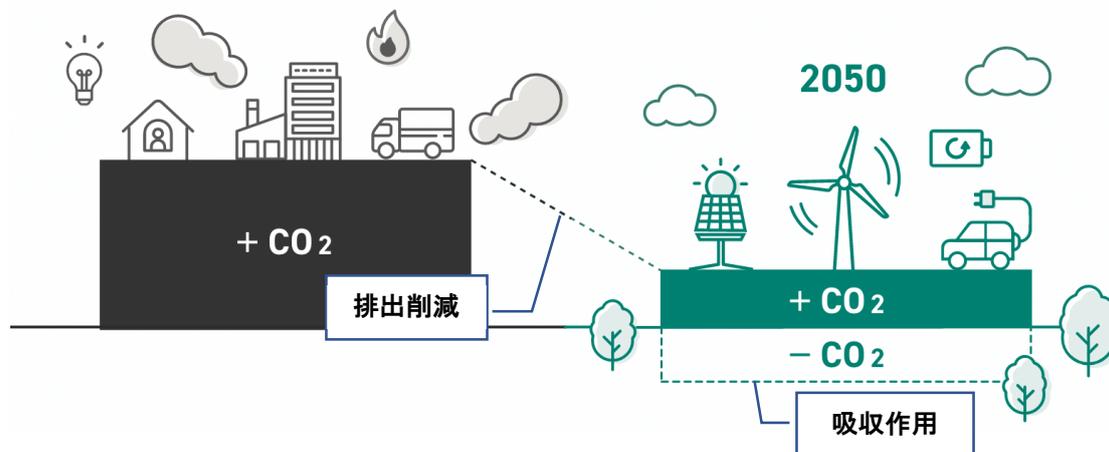
→ 2015年の国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）で採択された「パリ協定」を踏まえ、2050年までにGHGの排出量を全体としてゼロにする

### ② 改正地球温暖化対策推進法 成立（2021年6月）

→ 2050年までのカーボンニュートラル実現のため、脱炭素に向けた取組・投資の加速、地域の再生可能エネルギーの活用等を明記

### ③ 地域脱炭素ロードマップ（2021年6月）

→ 2030年までに行う取組・施策を中心に、地域脱炭素の行程と具体策を整理



■ 『カーボンニュートラル』イメージ図  
～「環境省・脱炭素ポータル」サイトより～

## 2 国内・県内の取組状況

### (1) ゼロカーボンシティ宣言 全国の自治体

- ▼ 令和元年… 4
- ▼ 2年… 166
- ▼ 6年… 1122 / 1788  
(9月30日現在)



▲「環境省・脱炭素ポータル」サイトより

### (2) ゼロカーボンシティ宣言 埼玉県内

- ▼ 50 / 63 市町村  
(9月30日現在)



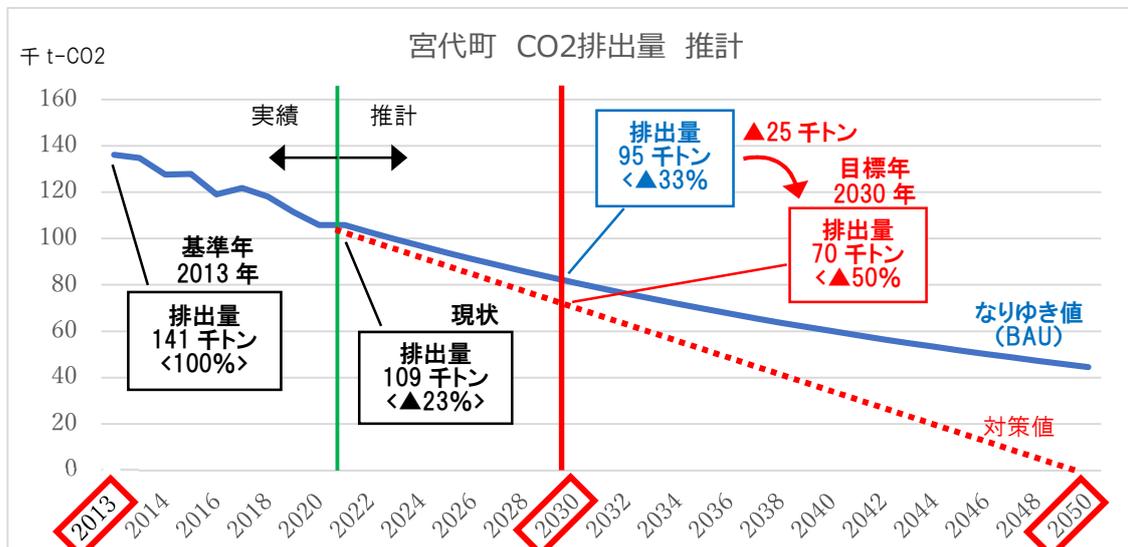
▲「環境省・地方公共団体実行計画策定・実施支援」サイトより

※ 宮代町のゼロカーボンシティ宣言  
…令和5年3月議会において宣言  
(令和5年2月16日・県内40番目)

## 3 宮代町の温暖化対策 『地球温暖化対策実行計画』

### I) 区域施策編 ～ 町全体の脱炭素化 ～

#### (1) 宮代町のGHGの排出状況と今後の推計 【計画＝第3章・第4章】



環境省「自治体排出量カルテ」等をもとに推計

(2) 将来像と目標 【計画＝第5章】

- ① 温暖化対策によって目指す町の将来像  
「みんなで創る みんな輝く 脱炭素のまち 宮代」
- ② 2030年度目標

二酸化炭素排出量… 2013年度比 50%削減  
<削減量>

$$141,480 \text{ t} \times 50\% = \underline{\underline{\Delta 70,740 \text{ t-CO}_2}}$$

<内訳>

① 「なりゆき」による削減…	<u>46,066 t-CO<sub>2</sub></u>
② 省エネ対策による削減…	<u>16,852 t-CO<sub>2</sub></u>
③ 森林経営・管理による削減…	<u>111 t-CO<sub>2</sub></u>
④ 再エネ導入による削減…	<u>7,711 t-CO<sub>2</sub></u>

(3) 3つの削減手法 【計画＝第6章】

- ① 省エネ対策  $\Delta 15,009 \text{ t-CO}_2$   
→ 例：建物の省エネ化（断熱化等）、EV導入、スマート農業…など
- ② 再エネ普及  $\Delta 7,711 \text{ t-CO}_2$   
→ 例：太陽光発電導入促進…など
- ③ その他総合的な対策  $\Delta 1,954 \text{ t-CO}_2$   
→ 例：森林管理、ごみ減量化・資源化、環境配慮製品の普及促進…など

◆ 区域施策編 実行時のポイント ◆

- 脱炭素化対策に取り組む（先行投資する）ことで
- 社会の効率化とエネルギーの自給自足を進め
- 高齢化や少子化、気候変動などの社会課題と脱炭素化の同時解決をはかり
- 省エネによって生まれた余剰資金で地域経済の発展に寄与していく

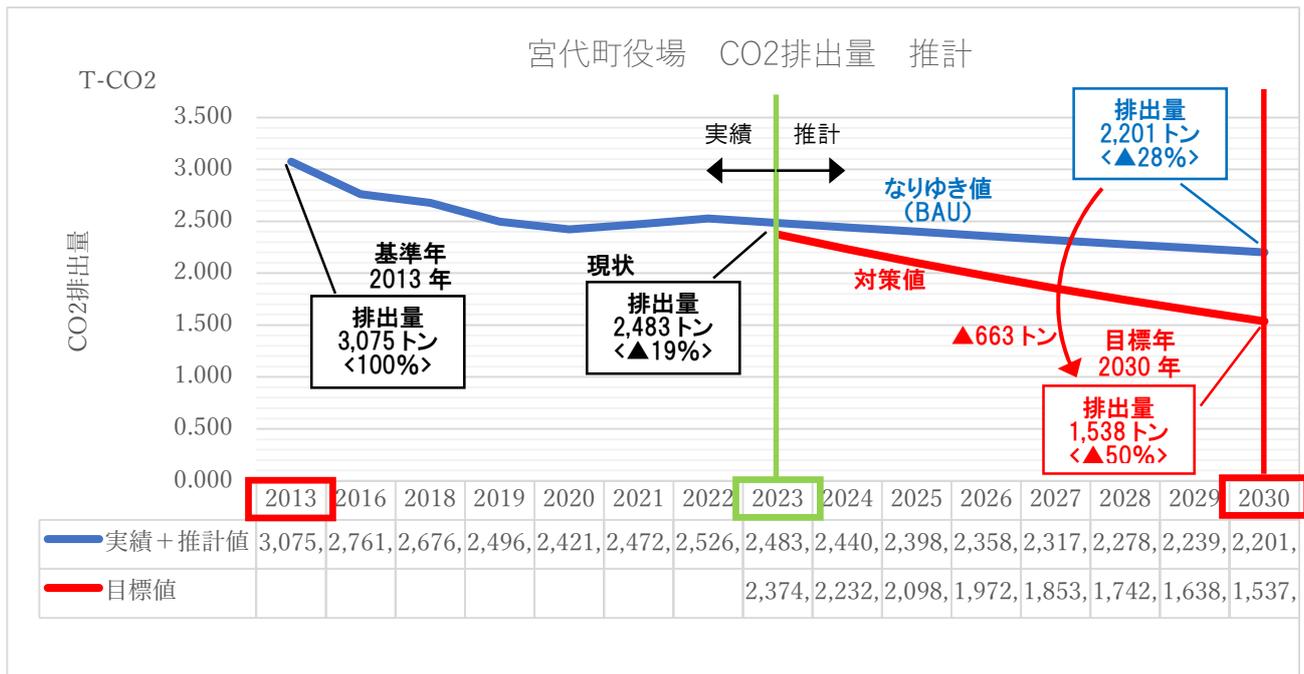
(4) 計画の実施体制 【計画＝第7章】

宮代町ゼロカーボン推進協議会

- 町内事業者（6社）、埼玉りそな銀行、商工会、日本工業大学、宮代町で構成
- 宮代町のゼロカーボン実現のための計画策定と計画実行を中心的に担う



## II) 事務事業編 ～ 町役場の脱炭素化 ～



### (1) 2030年度 目標

二酸化炭素排出量… 2013年度比 50%削減

### (2) 3つの削減手法

追加的削減量＝663トンの削減手法

- ① 省エネ対策 ▲305 t-CO<sub>2</sub> 省エネ型事務機器導入、EV導入…など
- ② 再エネ普及 ▲358 t-CO<sub>2</sub> 太陽光発電導入
- ③ その他 太陽光導入まで補助的対策として再エネ電力の活用など

## 4 実施中・実施予定の脱炭素対策

### ◆ 事業者と町民の連携による脱炭素対策 ◆

#### ● インクカートリッジ里帰りプロジェクト <H30.7月～>

使用済みインクカートリッジを再生利用する「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加。役場、図書館、ぐるるに回収箱を設置。



#### ● コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社とペットボトル資源循環リサイクルに関する事業連携協定」を締結 <R6.10月～>

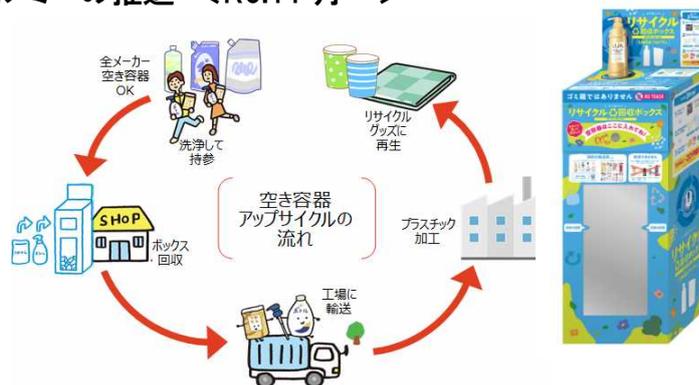
使用済みペットボトルを再びペットボトルとして再生する「水平リサイクル」を実施。



● (株)セキ薬品との連携…サーキュラーエコノミーの推進 <R6.11月～>

「UMILE (ユーマイル) プログラム」の実施

→ (株)セキ薬品、ユニリーバ(株)、埼玉県、宮代町、杉戸町の連携による空容器(プラスチック)のリサイクルの取組



◆ 町が取り組む脱炭素対策 ◆

● 公用車のEV化

電気自動車 (EV) 5台 (R6: 2台購入)

ハイブリッドカー (HEV) 3台

→ 今後もEV・HEVへの入れ替えを進めていく



● 公共施設照明のLED化

役場庁舎 (R3.8月～)、町立保育園 (R4.8月～)、保健センター (R5.9月～)、学校施設 (R6.1月～) の照明をLED化



● 役場庁舎 太陽光発電の設置 (更新)

太陽光発電設備 (94.83 kW)

蓄電池 (16.4 kWh)

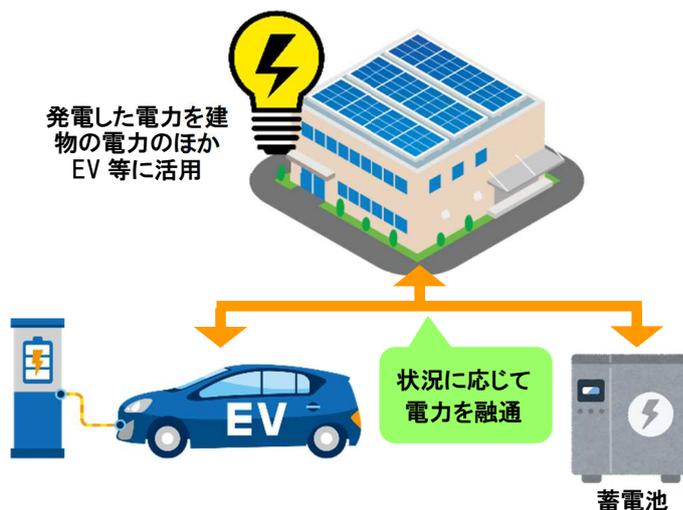
V2H (双方向EV充電器)



電気料金の削減 (約 300 万円)

非常用電源の確保

GHG削減 (約 46 t)

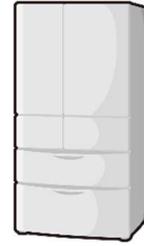


※ 他の公共施設の太陽光発電導入については検討中

V2H

● 省エネ家電買換促進補助 <R7 年度 実施予定>

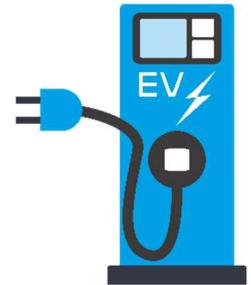
生活必需品であるエアコン、冷蔵庫、照明器具の省エネ化により、光熱費の削減と脱炭素化を促進。



● 公共施設へのEV充電ポイント設置 <R7 年度 実施予定>

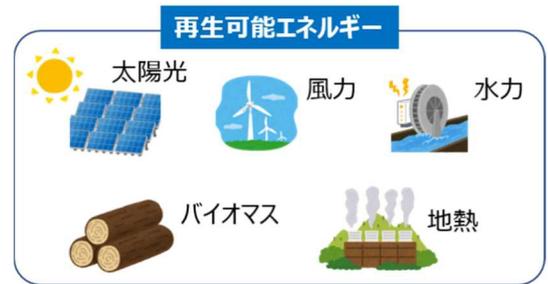
EV普及促進対策として、公共施設利用者等が利用（有料）できるEV充電ポイントを民間企業と連携し国庫補助活用により無償設置

- <設置検討施設> ①役場庁舎 ②ぐるる宮代 ③図書館  
④はらっパーク ⑤新しい村 ⑥すてっぷ宮代  
⑦保健センター



● 再エネ電力への切り替え <R7 年度以降 実施予定>

公共施設で使用する電力を再生可能エネルギー由来のものに切り替え、電力の脱炭素化を推進



5 今後の予定

	R6		R7			R8		
	中	下	上	中	下	上	中	下
区域施策編		パブコメ 予算審議 (3月議会)	< 宮代町ゼロカーボン推進協議会を中心とした取組 > ●建物断熱化 ●省エネ家電買換補助…など					
事務事業編			< 町が行う取組 > ●EV充電ポイント設置 ●再エネ電力導入 ●公共施設太陽光発電導入検討・調整…など					